

▼  
▲  
N O R T E ローターリー塵芥車

# revo プレス 取扱説明書

第 3 版

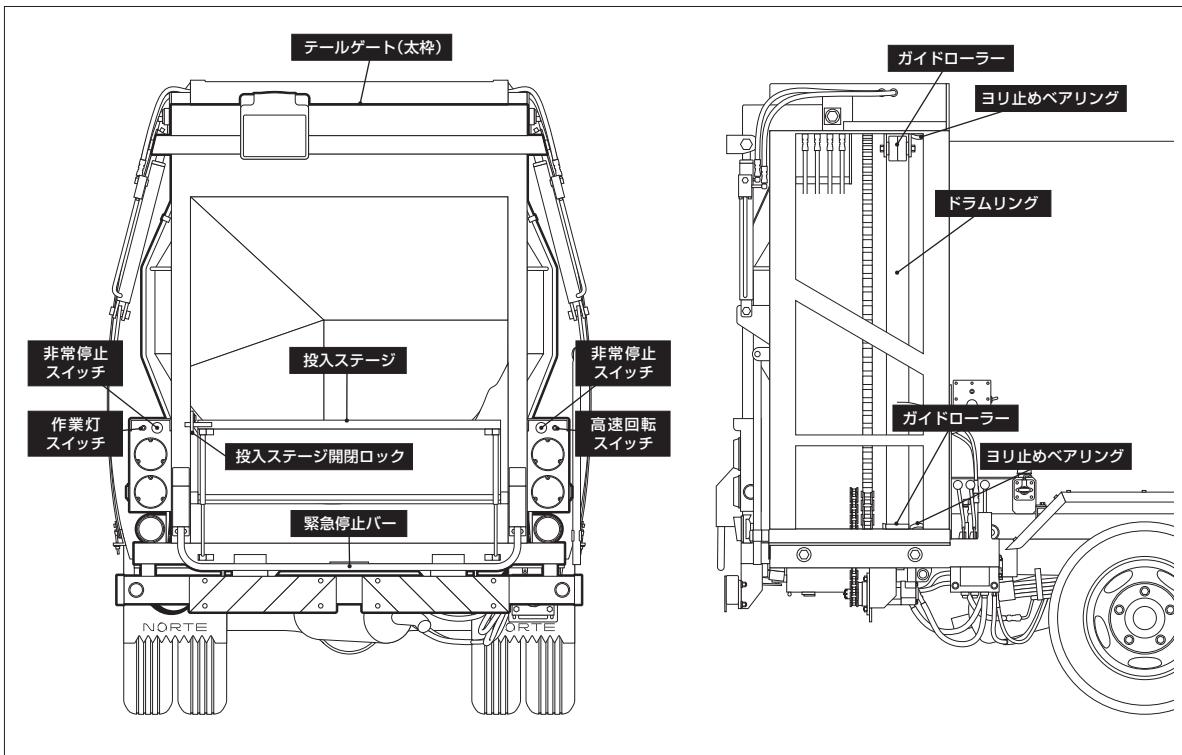
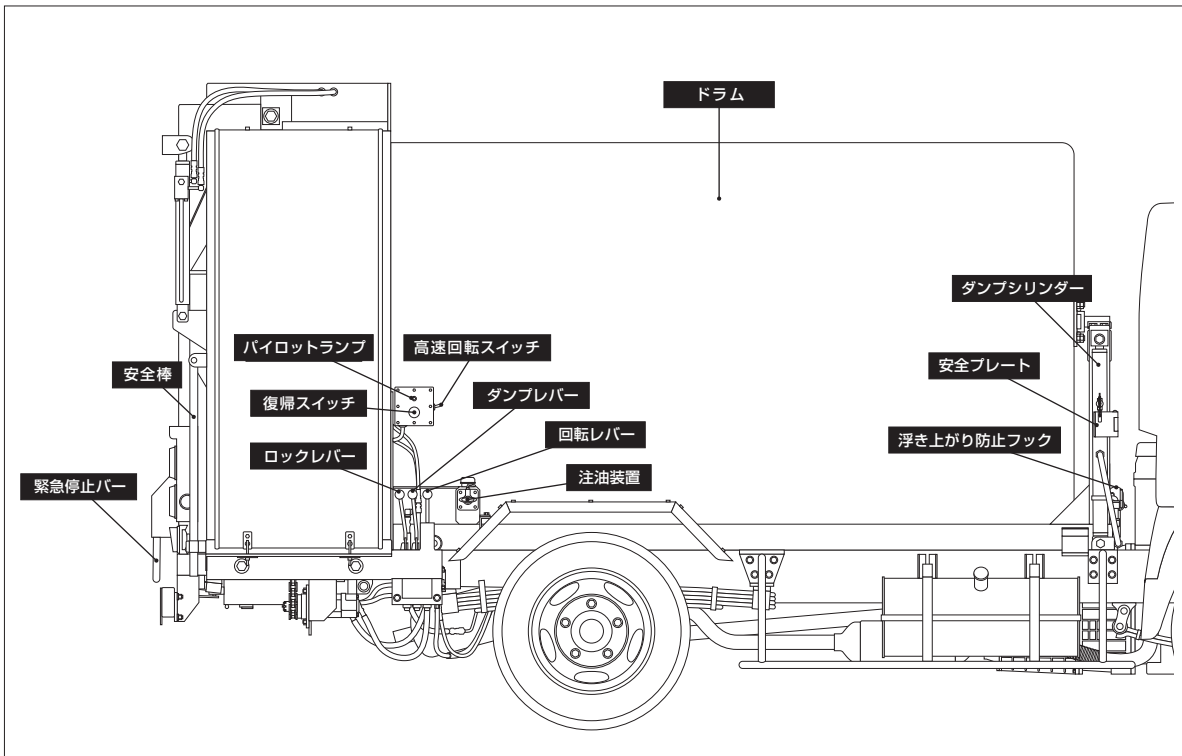
▼  
▲  
NORTE®



# 目次

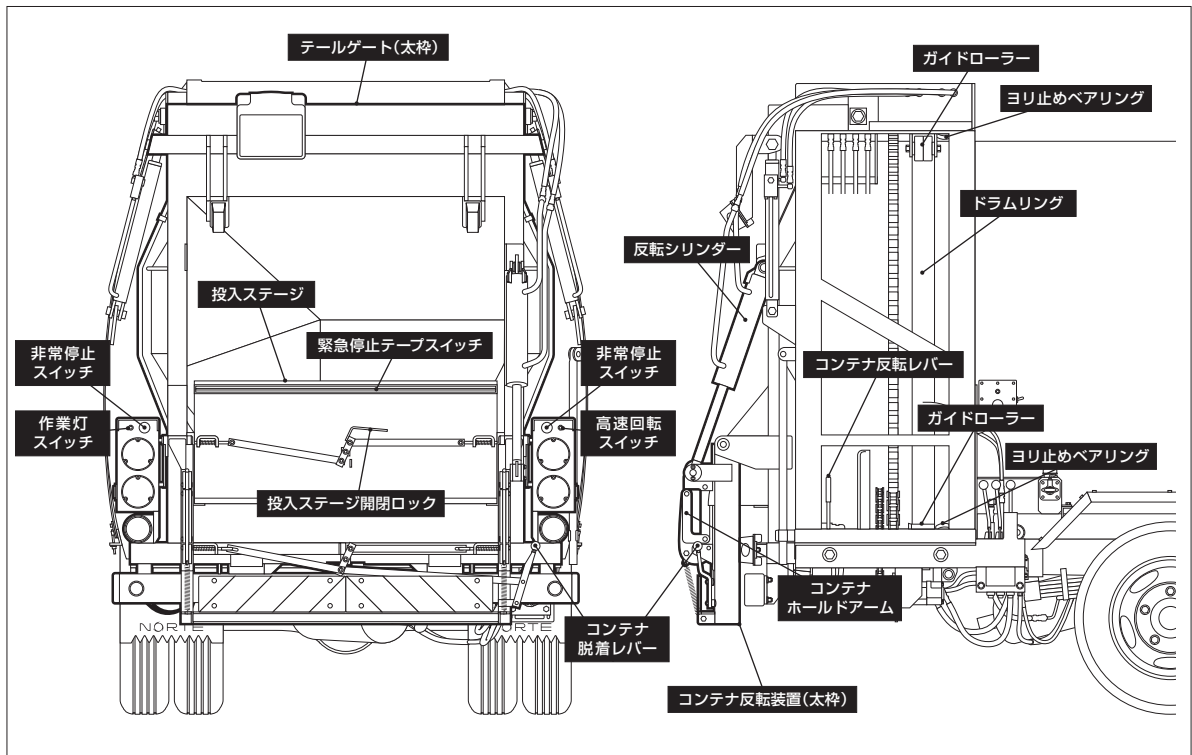
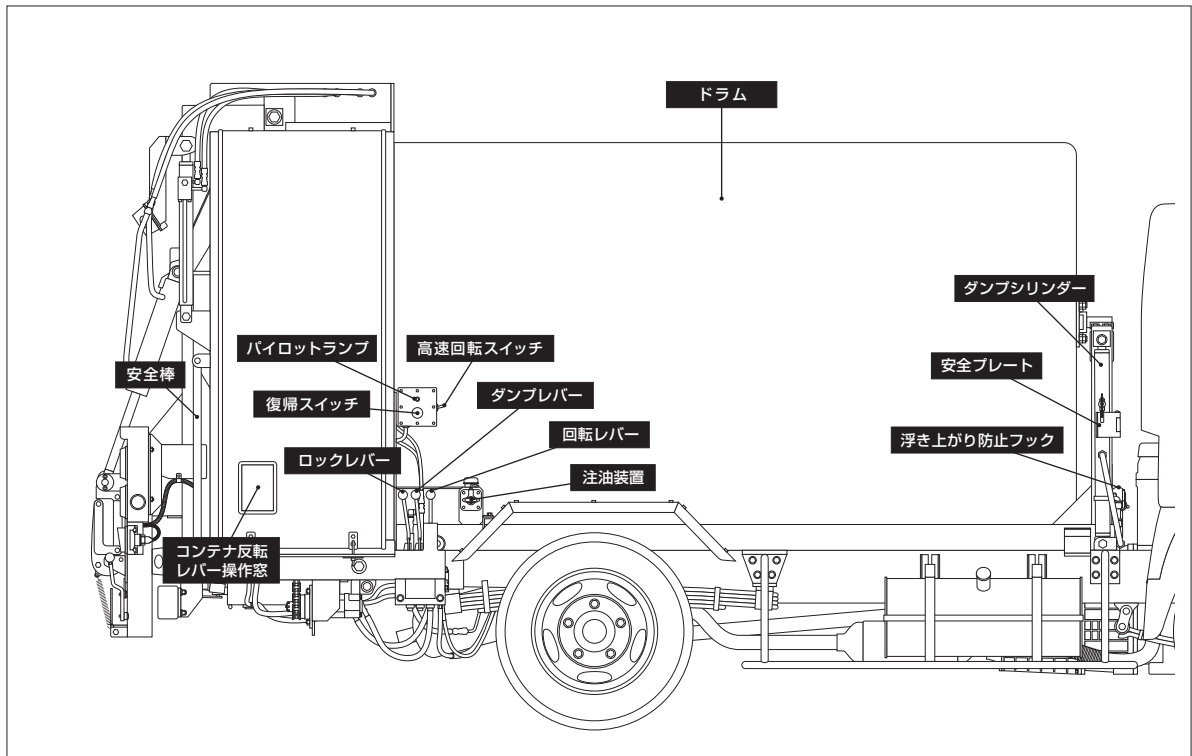
1 各部名称	
1-1 各部名称①	2
1-2 各部名称②(コンテナ反転装置装備車)	3
2 積込作業操作方法	4
3 排出作業操作方法	
3-1 排出作業の準備	6
3-2 排出作業	7
3-3 排出作業の完了	8
4 コンテナ反転装置を使った積込作業操作方法	
4-1 コンテナ反転装置の準備	10
4-2 キャスター付コンテナの装着と積込作業	11
4-3 コンテナ反転装置を使った積込作業の完了	12
5 注意事項	13
6 給油脂	14
7 点検整備方式	15

## 1-1 各部名称①



図の車両イラストは「NR-2／キャブバック物置非設置／コンテナ反転装置非装備」仕様です。  
キャブバック物置設置車両は浮き上がり防止フックの位置が図と異なります。

## 1-2 各部名称②（コンテナ反転装置装備車）



図の車両イラストは「NR-2W／キャブバック物置非設置／コンテナ反転装置装備」仕様です。キャブバック物置設置車両は浮き上がり防止フックの位置が図と異なります。

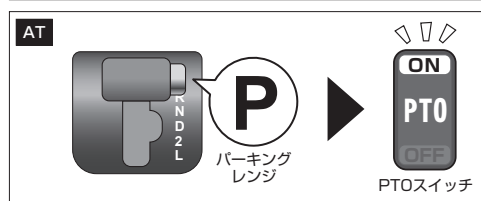
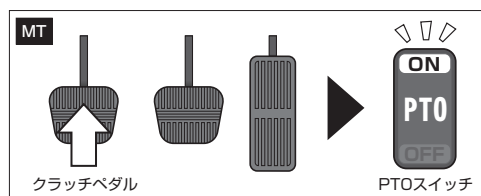
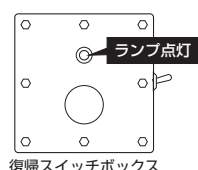
## 2 積込作業操作方法

- ①車両のパーキングブレーキを引いて、確実に車両が停止していることを確認した上で次の操作を行ってください。

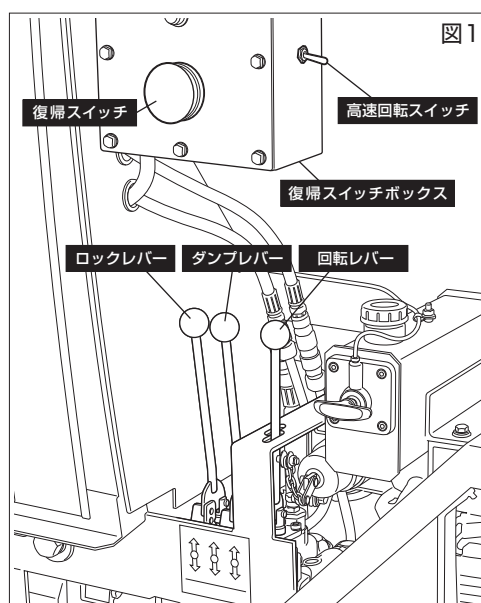
MT:ギアがニュートラルに入っていることを確認してクラッチペダルを踏み、PTOスイッチをONにします。

AT:セレクターがパーキングレンジに入っていることを確認して、PTOスイッチをONにします。

PTOスイッチによりエンジンの動力が正しく伝達されると、復帰スイッチボックスのパイロットランプがグリーンに点灯します。(パイロットランプ消灯状態での積込作業はできません。)



- ②[図1] 操作ユニット右端の回転レバーを中立位置から積込位置まで手前に引きます。ドラムが回転を始めますので、積込を開始してください。(レバーは積込位置にホールドされます。)

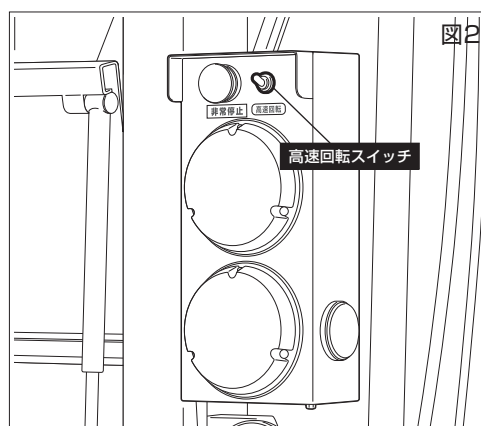


- ③高速積込が必要な際は、[図1] 復帰スイッチボックス側面、または[図2] テールボックスの高速回転スイッチをONにしてください。ドラムが高速回転を開始します。(使用後は必ずスイッチをOFFにしてください。)

- ④積込作業終了後、[図1] 操作ユニット右端の回転レバーを積込位置から中立位置に戻すと、ドラムの回転が停止します。



- ⑤積込作業終了後はPTOスイッチをOFFにしてください。





回転レバーを急激・急速に操作しますと、ギアやチェーンを傷める恐れがあります。



左右テールボックス内の非常停止スイッチ、緊急停止バー、緊急停止テープスイッチの各装置は危険防止用であり、常用を想定しておりません。ドラムの回転を停止させる場合は、回転レバーを操作してドラムを停止させてください。

## 3-1 排出作業操作方法①

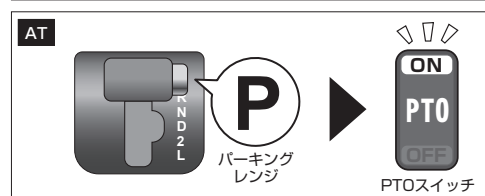
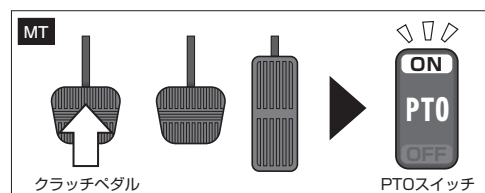
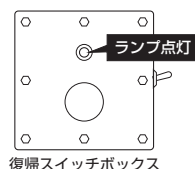
### 排出作業の準備

- ①車両のパーキングブレーキを引いて、確実に車両が停止していることを確認した上で次の操作を行ってください。

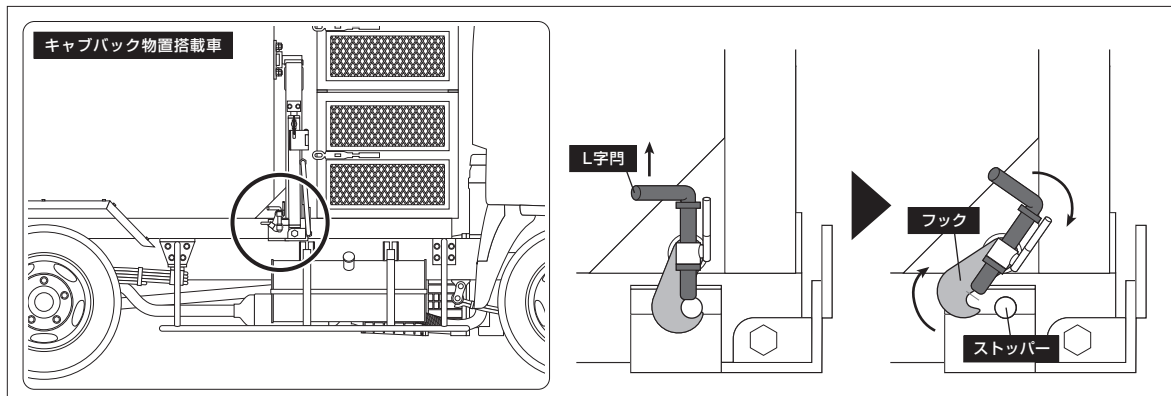
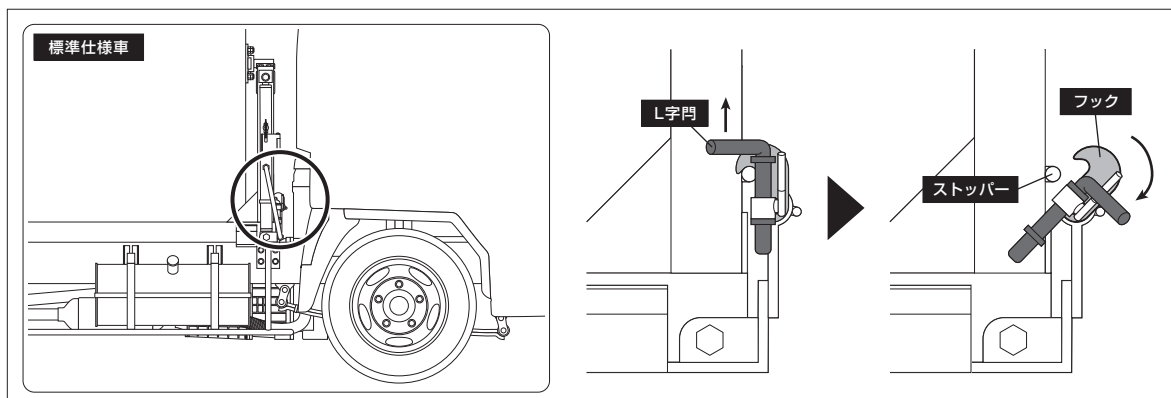
MT:ギアがニュートラルに入っていることを確認してクラッチペダルを踏み、PTOスイッチをONにします。

AT:セレクターがパーキングレンジに入っていることを確認して、PTOスイッチをONにします。

PTOスイッチによりエンジンの動力が正しく伝達されると、復帰スイッチボックスのパイロットランプがグリーンに点灯します。(パイロットランプ消灯状態での排出作業はできません。)



- ②ドラム前部の浮き上がり防止フックのL字門(かんぬき)を引き抜き、そのまま時計周り方向に倒してください。フックがストッパーから外れてダンプアップが可能になります。フックが確実に解除位置にあることを確認してください。

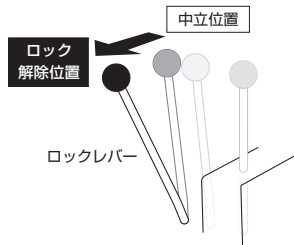




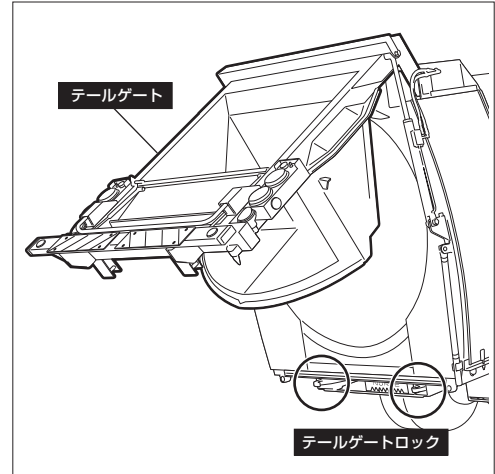
## 3-2 排出作業操作方法②

### 排出作業

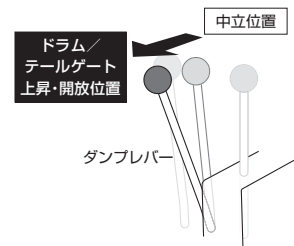
- ① [図1] 操作ユニット左端のロックレバーを手前に引くと、テールゲートロックが解除され、テールゲートの上昇・開放が可能になります。



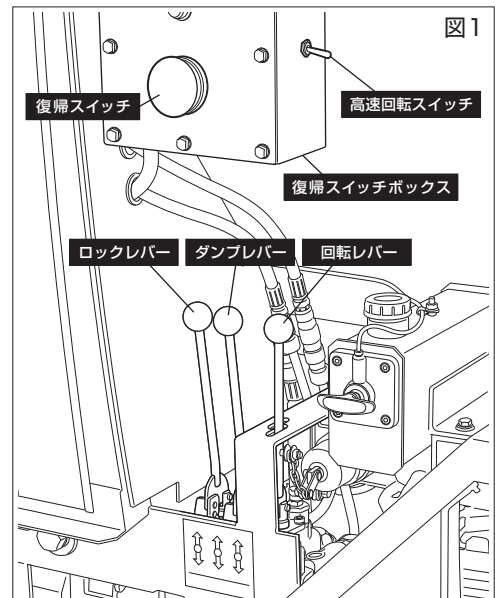
十分にレバーを引き続けて完全にロックを解除してください。(ロックが解除されるとリアゲートが少し開きます。)操作が完了しましたらレバーをはなしてください。レバーは自動的に中立位置に戻ります。



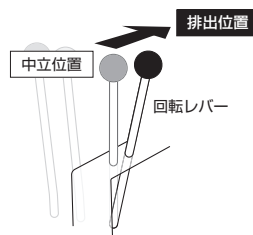
- ② [図1] 操作ユニット中央のダンプレバーを手前に引くと、ドラムとテールゲートが上昇・開放を始めます。



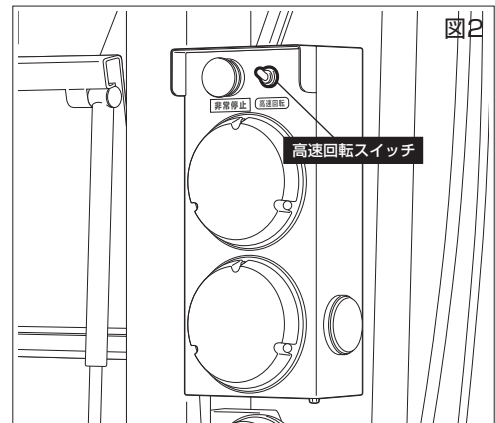
全開放するまでレバーを引き続け、操作が完了しましたらダンプレバーをはなしてください。レバーは自動的に中立位置に戻ります。



- ③ [図1] 操作ユニット右端の回転レバーを奥に押し込むと、ドラムが積込時と逆に回転し、排出が始まります。



- ④ 高速排出が必要な際は、[図1] 復帰スイッチボックス側面、または[図2] テールボックスの高速回転スイッチをONにしてください。ドラムが高速回転を開始します。(使用後は必ずスイッチをOFFにしてください。)



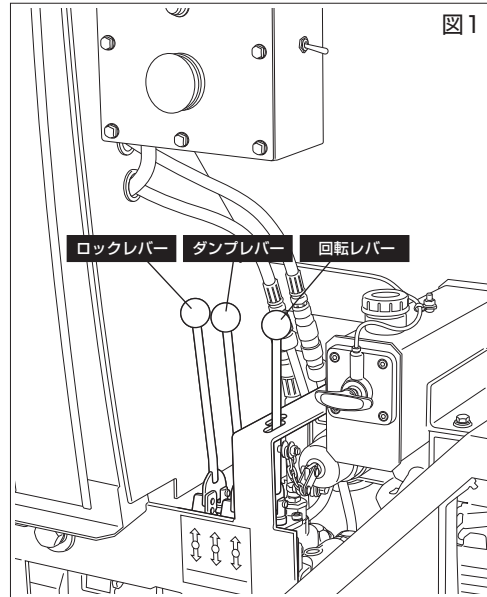
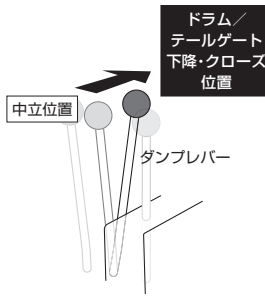
### 3-3 排出作業操作方法③

#### 排出作業の完了

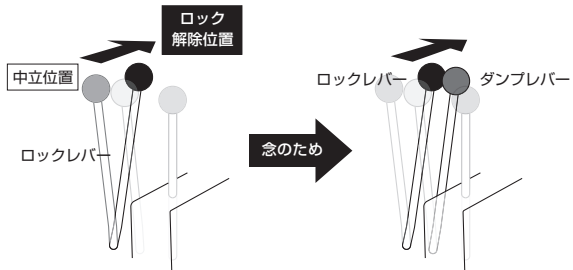
- ① 排出作業終了後、[図1] 操作ユニット右端の回転レバーを排出位置から中立位置に戻すと、ドラムの回転が停止します。



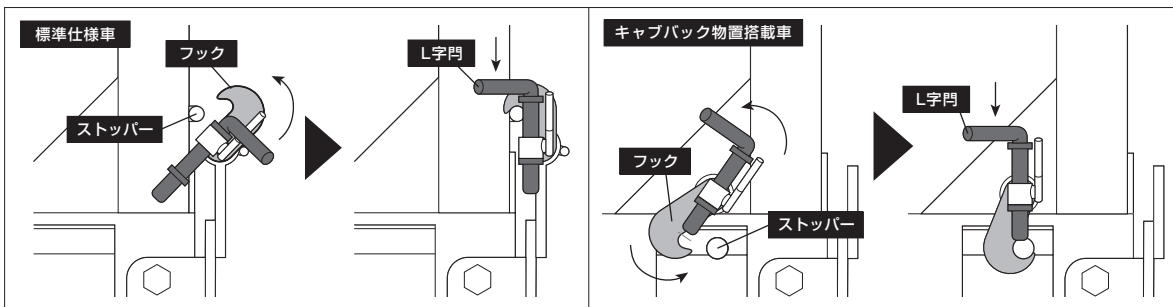
- ② [図1] 操作ユニット中央のダンプレバーを奥に押し込むと、ドラムとテールゲートが下降・クローズを始めます。全閉するまでレバーを押し続け、操作が完了しましたらダンプレバーをはなしてください。レバーは自動的に中立位置に戻ります。



- ③ [図1] 操作ユニット左端のロックレバーを奥に押し込むと、テールゲートがロックされ、テールゲートの上昇・開放ができなくなります。十分にレバーを押し続けて完全にロックしてください。最後に念のためロックレバーとダンプレバーを2本いっしょに奥に押し込んでください。操作が完了しましたらレバーをはなしてください。レバーは自動的に中立位置に戻ります。



- ④ 浮き上がり防止フックを確実にストッパーに噛ませ、しっかりL字門を掛けます。



- ⑤ PTOスイッチをOFFにすると走行可能になります。





テールゲートを閉じる際には、内側に人や物がいないか必ず目視にて確認の上で操作してください。



回転レバーを急激・急速に操作しますと、ギアやチェーンを傷める恐れがあります。



左右テールボックス内の非常停止スイッチ、緊急停止バー、緊急停止テープスイッチの各装置は危険防止用であり、常用を想定しておりません。ドラムの回転を停止させる場合は、回転レバーを操作してドラムを停止させてください。

## 4-1 コンテナ反転装置を使った積込作業操作方法①

### コンテナ反転装置の準備

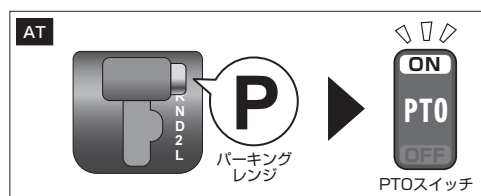
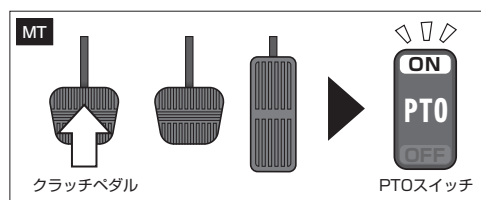
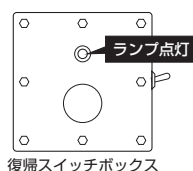
コンテナ反転装置を装備している車両は、キャスター付コンテナ (0.6㎡) を機械的に反転させることで中身をドラムに直接積込むことができます。

- ①車両のパーキングブレーキを引いて、確実に車両が停止していることを確認した上で次の操作を行ってください。

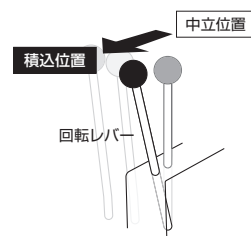
MT:ギアがニュートラルに入っていることを確認してクラッチペダルを踏み、PTOスイッチをONにします。

AT:セレクターがパーキングレンジに入っていることを確認して、PTOスイッチをONにします。

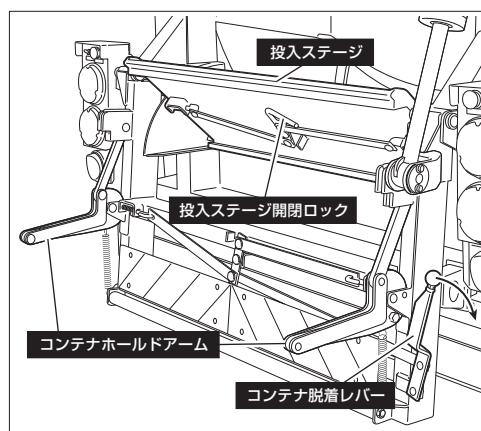
PTOスイッチによりエンジンの動力が正しく伝達されると、復帰スイッチボックスのパイロットランプがグリーンに点灯します。(パイロットランプ消灯状態での積込作業はできません。)



- ②操作ユニット右端の回転レバーを中立位置から積込位置まで手前に引きます。ドラムが回転を始めます。(レバーは積込位置にホールドされます。)



- ③投入ステージを支えながら投入ステージ開閉ロックのハンドルを反時計周り方向に回します。投入ステージをゆっくりと図の位置付近まで倒すと自動的にロックが掛かり、ステージがホールドされます。



- ④コンテナ脱着レバーを矢印の方向に引き、コンテナホルドアームを開放します。(開くアームに十分に注意してください。)



回転レバーを急激・急速に操作しますと、ギアやチェーンを傷める恐れがあります。

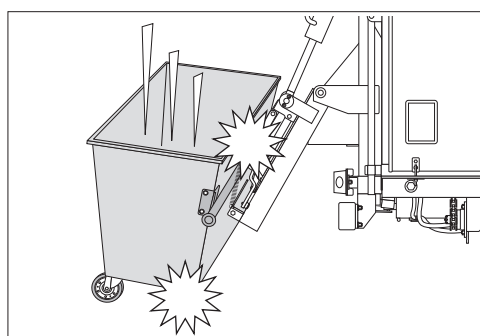
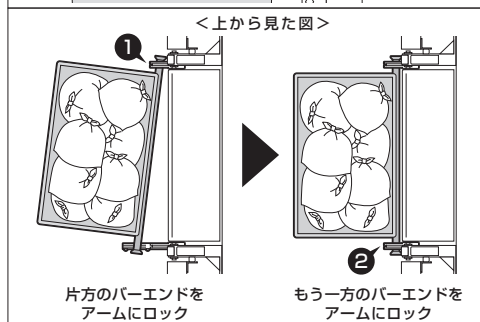
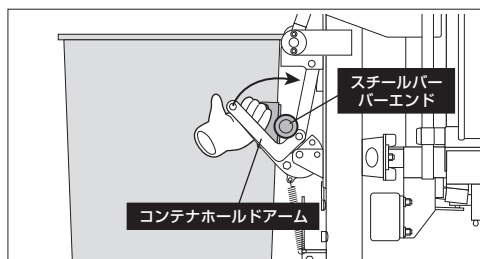
## 4-2 コンテナ反転装置を使った積込作業操作方法②

### キャスター付コンテナの装着と積込作業

#### ①キャスター付コンテナを反転装置に装着します。

※装着の際は反転装置にコンテナを勢いよく押し込んでロックするのではなく、コンテナホールドアームを片方ずつ手で操作して確実にコンテナのスチールバーのバーエンドをロックしていただく方法を推奨します。ホールドアームをロックする際に手をはさまないようにご注意ください。

コンテナホールドアームが閉じると、コンテナ脱着レバーが通常位置に戻ります。



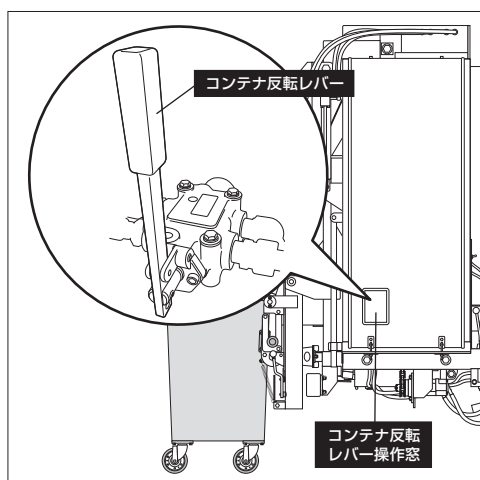
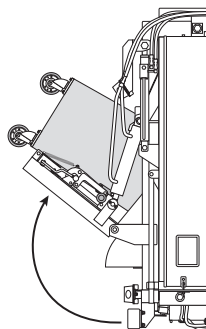
#### 反転装置へのキャスター付コンテナ装着時の注意

反転装置へキャスター付コンテナを装着する際は、コンテナのスチールバーをホールドアームに確実に保持させてください。

保持が甘かったり、片持ちの状態で作転装置を作動させますと、コンテナが落下し、作業員・車両・コンテナ本体・収集先施設に損害を及ぼす恐れがあり、たいへん危険です。

- #### ②キャスター付コンテナを反転装置に確実に装着しましたら、コンテナ反転レバー操作窓からコンテナ反転レバーを操作してコンテナを反転させ、中身をドラムに排出します。
- レバーを手前に引くと反転装置が作動し、コンテナが上昇します。レバーをはなすと反転装置を一時停止できます。

コンテナ反転レバー

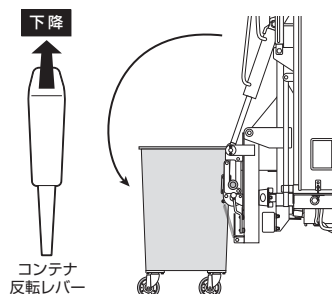


- #### ③高速排出が必要な際は、復帰スイッチボックス側面、またはテールボックスの高速回転スイッチをONにしてください。ドラムが高速回転を開始します。(使用後は必ずスイッチをOFFにしてください。)

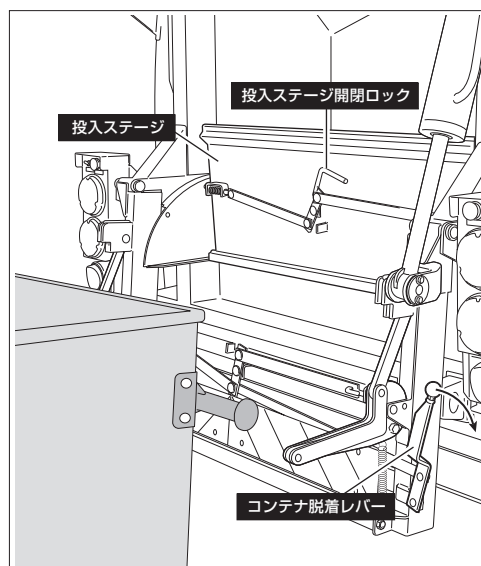
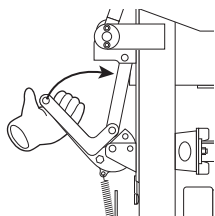
## 4-3 コンテナ反転装置を使った積込作業操作方法③

### コンテナ反転装置を使った積込作業の終了

- ① キャスター付コンテナからの排出・積込作業終了後、コンテナ反転レバーを奥側に押し込むと反転装置が作動し、コンテナが下降します。レバーをはなすと反転装置を一時停止できます。コンテナのキャスターが完全に着地するまでレバーを押し続けてください。

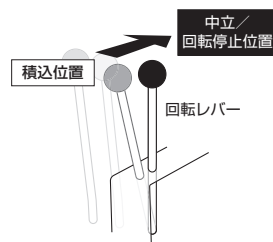


- ② コンテナ脱着レバーを右図の矢印の方向に引き、コンテナホールドアームを開放し、コンテナを離脱させます。その後、コンテナホールドアームを確実にロック位置に戻してください。(左図)



- ③ 投入ステージを支えながら投入ステージ開閉ロックのハンドルを反時計周り方向に回します。投入ステージをゆっくりと図の位置付近まで起こすと自動的にロックが掛かり、ステージがホールドされます。

- ④ コンテナ反転装置を使った積込作業終了後、操作ユニット右端の回転レバーを積込位置から中立位置に戻し、ドラムの回転を停止させてください。



- ⑤ PTOスイッチをOFFにしてください。



コンテナ反転レバーを急激・急速に操作しますと、反転装置やキャスター付コンテナ、車体を傷める恐れがあります。また、コンテナがホールドアームから外れる原因にもなります。



回転レバーを急激・急速に操作しますと、ギアやチェーンを傷める恐れがあります。



## 5 注意事項



走行時は必ずPTOスイッチをOFFにしてください。ONにした状態での走行は、ポンプの焼き付き、作動油の高温・高圧化によるホース類やパッキン等へのダメージ、トランスミッションの不具合などの原因となることがあります。

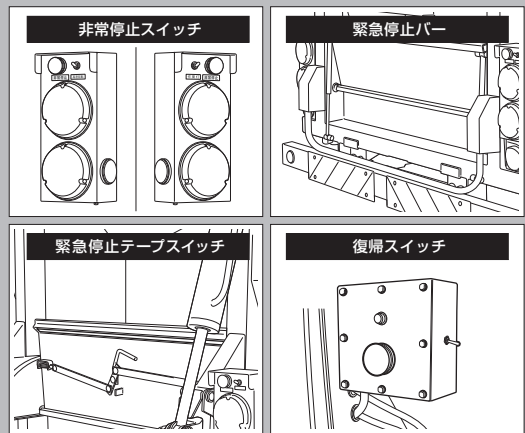


PTOスイッチのON・OFFは、マニュアル車はクラッチを切ってから、オートマチック車はセレクターをパーキングレンジに入れてから行ってください。



運行開始前に必ずドラムの動作に関する次の確認を行ってください。

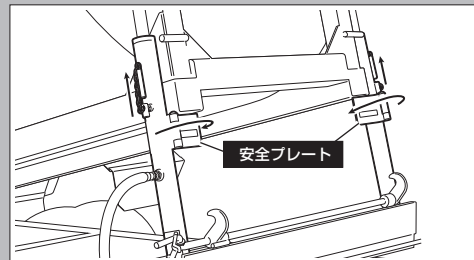
- ドラム本体の動作
- 非常停止スイッチの動作(運転席側・助手席側)
- 緊急停止バーの動作(反転装置非搭載車)
- 緊急停止テープスイッチの動作(反転装置搭載車)
- 復帰スイッチの動作



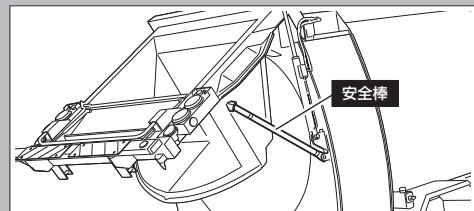
爆発・発火の恐れのある危険物は絶対に積み込まないでください。



ダンプ状態の荷箱の下には手足・体を入れないでください。点検・整備等でやむをえず荷箱の下に入る場合は、必ずダンプシリンダーの安全プレートを荷箱のベースボディに噛ませてください。



上昇・開放中のテールゲート内には手足・体を入れないでください。点検・整備等でやむをえずテールゲート内に入る場合は、必ず安全棒をテールゲートに噛ませてください。

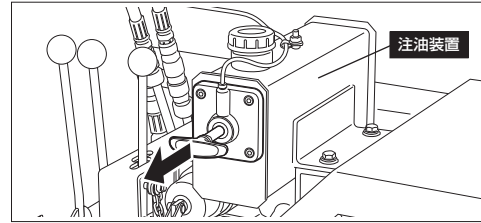


回転レバーの手前・奥への連続切り返し操作は、油圧モーターの故障の原因となります。必ず中立で一旦止めて、ドラムの回転が停止するのを確認してから行ってください。

## 6 給油脂

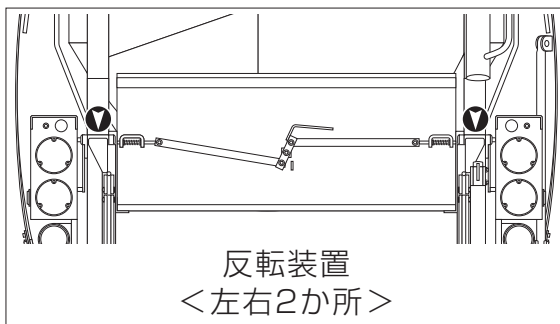
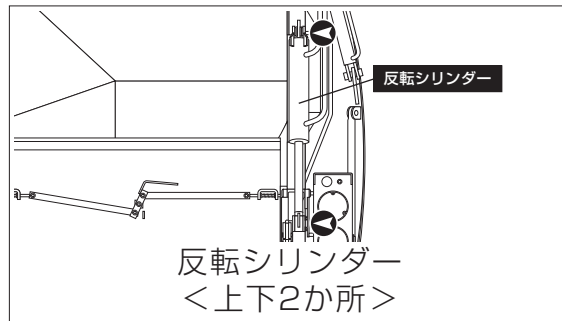
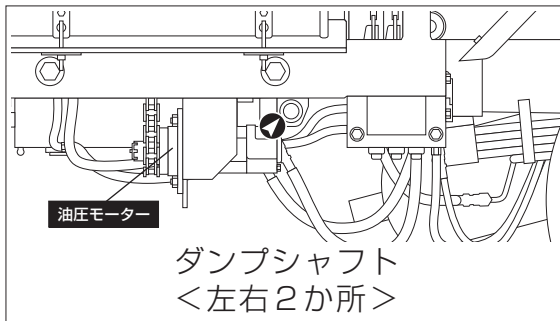
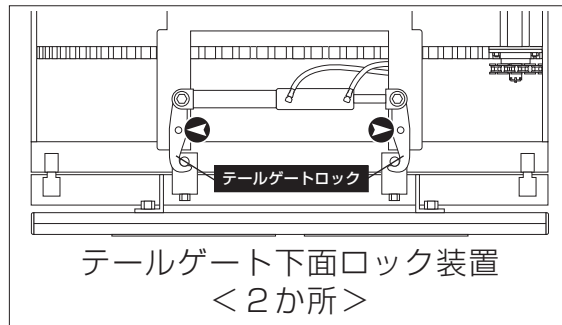
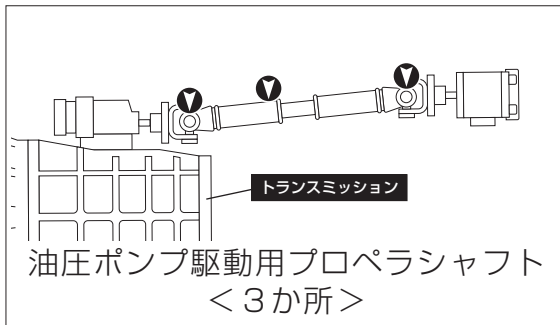
### ドラム回転駆動部への給油脂

ドラム回転駆動部への給油脂は、操作ユニット横の注油装置のレバーを手前に引いて行ってください。ドラムリングおよびベアリング部の油脂の状態を確認して、不足のない程度に注油してください。



### グリスアップ

1か月に1回程度、下記の各グリスニップルにグリスアップを行ってください。



### 作動油

本機は出光興産株式会社製ダフニー スーパーハイドロリックフルイド46Aを使用しています。補給・交換の際には、上記以外の作動油は使用しないでください。作動油の交換は1年(12か月)ごとに行ってください。



## 7 点検整備方式

点検項目		点検内容	点検時期			備考
区分	項目(部位)		作業開始前	月例	年次	
車 両	原 動 機	異音、ガタ、緩み、発熱、油洩れ等	○	○	○	
	動力伝達装置	//		○	○	
	走行装置	//	○	○	○	
	制 動 装 置	//	○	○	○	
油 圧 装 置	油 圧 ポ ン プ	異音		○	○	
		油洩れ		○	○	
		取付けボルトの緩み			○	
	油圧シリンダー	ロッドの損傷			○	
		油洩れ		○	○	
		取付け部の異常の有無			○	
	油 圧 モ ー タ ー	異音		○	○	
		油洩れ		○	○	
		取付けボルト、スプロケットの緩み等			○	
	作 動 油	タンク内の油量	○		○	
		よごれ(色)			○	
		タンク内ストレーナーの清掃			○	
		フィルターの変換			○	
	ゴ ム ホ ー ス	接触、衝撃などによる外部の損傷の有無等		○	○	
		油洩れ、表面の劣化割れ等		○	○	
		締付けの緩み			○	
	油圧パイプ継手	油洩れ、締付けの緩み		○	○	
		配管クランプの緩み、他の部品等との接触等		○	○	
	油 圧	所定圧の確認			○	
	油 圧 バ ル ブ	油洩れ		○	○	
		取付けボルトの緩み			○	
作動				○		
電 気 ・ コ ン ト ロ ー ル	積 込 ・ 排 出 用 操 作 レ バ ー	操作レバーの作動確認	○			
		取付けボルトの緩み			○	
		レバーグリップの損傷・取付けの緩み		○	○	
	配 線	接触損傷、コネクターアース腐食等			○	
	ロータリソレノイド (エンジン定回転装置)	アームロッドの損傷・緩み			○	

点検項目		点検内容	点検時期			備考
区分	項目(部位)		作業開始前	月例	年次	
安全装置・機能	緊急停止スイッチ	作動の確認、スイッチ取付けの緩み等	○	○	○	
	緊急停止装置	作動の確認、損傷具合等	○	○	○	
	テールゲート降下時のインターロック	作動の確認	○	○	○	
	安全棒	異状の有無、正常な作動の確認	○	○	○	
	バックブザー	車両後退時バックブザーは警報音を発するか	○		○	
	ダンプの降下防止装置	点検確認	○	○		
	消火器	点検確認	○		○	
	テールゲートのロック	かかり具合	○			
伝導制御関係	P.T.Oおよびコントロール関係	断接の切換がスムーズで確実か、操作感はよいか	○		○	
		異音など不具合現象はないか	○	○	○	
		油洩れ、取付けボルトの緩み		○	○	
	駆動軸およびU.J	異音、振れ、給脂等		○	○	
取付けボルトの緩み			○	○		
積込みおよび排出	積込・排出作動	ドラムの作動		○	○	
		内部ブレードの曲がり、亀裂など			○	
		軸受け部のガタ、ピンの廻り止めの緩み			○	
		チェーンの張り具合、異音等		○	○	
		ガイドローラの異音等		○	○	
		ローラ受けボルトのアジャスト			○	
		ヨリ止めベアリング・浮き防止ベアリングのガタ		○	○	
	テールゲート開閉作動	テールゲート上昇下降作動			○	
		シリンダ取付け部の曲がり、亀裂、緩み等			○	
		ロックピンのガタ、フック(ツメ)の調整			○	
		ロックフック(ツメ)の取付けシャフトに緩みがなく、かつ緊締度は左右均等か			○	
方向指示器等	方向指示器	正常な作動の確認	○			
	燈火装置	//	○			
	計器	//	○			
その他の架装関係	テールゲート	曲がり、亀裂、錆			○	
	ボデー	//			○	
	サブフレームおよび固定	シャーシと緊締ボルトの緩み			○	
	スペアタイヤキャリア	取付けナットの緩み、固定の緩み	○			
	汚水洩れ防止	ボールバルブの損傷			○	





**PHONE**



**MAIL**



**MAP**



**WEB**

株式会社 **ノルテ**

〒577-0836 大阪府東大阪市渋川町4-3-3  
TEL: 06 (6727) 7101 / FAX: 06 (6727) 2655